

- 3面 情報を読む感性を磨く
- 4面 憲法9条にノーベル平和賞を
- 6面 日本YWCA2014年度プログラム

The Young Women's Christian Association

YWCA

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第31総会期主題
平和を実現する人々は幸いである—マタイによる福音書5章9節

日本YWCAビジョン2015

- (1) 非核・非暴力により平和を実現する
・平和憲法をまもり、世界に広める
・原爆のない社会をつくる
・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
- (2) 女性と子どもの権利をまもる
- (3) 若い女性のリーダーシップを養成する

6

JUNE 2014

No.720

www.ywca.or.jp

安倍内閣は今、猪突猛進の勢いで、全国の学校教育の制度と内容を変えようとしています。目的が教育を本当に良くすることは思えません。十分な議論をしないで、とにかく急いでいるのです。目的は安倍首相がめざす憲法改定の国民投票で、賛成の考えを教育を通じて広げることにあるようです。

制度変更の一つは、いじめ問題を口実にした、道徳教育の強化です。これまでは、学校の判断で自由な内容でおこなわれてきましたが、今後は教科に格上げし、教科書を作って成績もつけます。強調



写真 ©レイバーネット日本

profile

琉球大学名誉教授

東京教育大学(現・筑波大学)修士課程修了後、同付属高校で社会科地理・現代社会を28年間担当。その間に教材研究で東南アジアでの日本軍による住民虐殺について調査。その成果を盛り込んだ現代社会教科書の検定で原稿を却下され、1993年に横浜で教科書裁判を提訴。その係争中の1996年に国立琉球大学教育学部に異動。2008年に定年退職。沖縄・横浜・杉並などで教科書問題に取り組んでいる。

教育が再び 政治の道具にされようとしている

「動物的忠誠心」の 再現を止めよう

されるのはどういう内容でしょうか？

2006年の第1次安倍政権では、教育基本法を全面的に改定しました。けれども、そこに明記した教育目的「我が国を愛する態度(愛国心)を育成」に今の教育内容は合っていない、と安倍首相は主張しています。道徳教育強化の目的の一つが、安倍首相流の「愛国心」の教え込みであるのは明らかです。

さらに、安倍首相が問題にしているのは、植民地支配や侵略などの歴史事実を教科書が詳しく説明

している点です。民主党政権時代の2011年4月には、日本史教科書の検定担当者を自民党に呼びつけて、安倍氏が厳しく叱りつけています。「従軍慰安婦」が行動の自由を制限されていたという意味の記述を、検定で認めたからです。

自民党内では日本の侵略の事実などを具体的に扱うことを、「自虐史観」と表現し、不当だとして教科書から排除すべきだとしています。

この方針が、2012年12月の衆議院選挙以来、自民党の選挙公

約に掲げられ、政権を獲得しました。その結果、意味が曖昧なこの造語を用いて、歴史分野を中心に、教科書の内容に制限を加え始めたのです。その一つが、新しく検定基準に明記された「閣議決定その他の方法により示された政府の統一的な見解又は最高裁判所の判例が存在する場合には、それらに基づいた記述がされていること」です。

ここでいう「政府の統一的見解」とは、第1次政権で「慰安婦の強制連行の証拠は確認されていない」との答弁書を閣議で決定し

高嶋伸欣
Takashina Nobuyoshi



たことを意味しています。安倍氏が叱ったことがこうして制度化化したのです。

このような細かいこと、しかも論争になっていることに、安倍首相の意向が反映されているのです。下村博文・文科大臣は、実に忠実な閣僚です。けれども、気の毒なことにも、まるで勉強が足りません。閣議決定された政府見解には、1995年8月15日の「村山談話」があるのを見落としたのです。植民地支配と侵略の責任を明確に認め、謝罪をしているのがこの談話です。当然、下村大臣や安倍首相は、「自虐史観」の典型とされているはずですが、それなのに、新しい検定基準では、「村山談話」を教科書に載せるように義務付けられたのも同然です。

このように、安倍政権の教育政策は政治的意図が見え透いている上に、不手際だらけなのです。領土問題でも、日本政府の見解を一方的に強調した書き方を義務付けました。これも、大人の世界で解決できない問題に、小学生や中学生を巻き込もうとするものです。度量の無さを示した、大人気のないうり方です。今年夏の小学校教科書の採択では、「子どもを大人

の争いに巻き込まない教科書を探していただきたい」と、教育委員会に要請しましょう。

教育による“洗脳”の危険性

安倍政権は、教育についても一つ、政治家が教育内容に介入できる制度変更をめざしています。教育委員会に対して、地方自治体の知事や市町村長の首長が、今よりも格段に口出しや指示をし易くするのです。現在でさえ教育委員は首長の任命になっていて、教育委員は首長の顔色を伺うことが多いのです。もっとひどくなれば、先生たちはますます萎縮しそうです。

それにしても、安倍首相は何故これほど教育を政治的に利用しようとしているのでしょうか？ それは、国民をマインドコントロール（洗脳）するには、学校教育が最も効果的だからです。戦前の国定教科書と教育勅語による軍国主義教育が、そのお手本です。現人神天皇のいる日本は世界一素晴ら

しい国なのだから、万一戦争になったら、天皇のために迷わずに身も心も捧げる忠実な国民（臣民）になるのが正しい生き方だ、と学校で徹底的に教え込んだのです。

教育勅語が出された1890年に6歳で小学校に入学した人が、満州事変の1931年には46歳です。その年齢以下の国民は洗脳されていたのです。それから15年間の戦争を1億の国民が「欲しがりません勝つまでは」と、政府・軍部のいいなりになったのもこの「効果」なのです。

沖縄では住民が天皇の軍隊（皇軍）の足手まといにならないようにと、家族同士で殺しあう「集団自決（強制集団死）」が多発。未成年の男女生徒が戦場に「志願して命を落としました」「本土（他府県）では、特攻隊で有能な若者が自爆しました。国家主義教育で判断力を奪われた状態を、著名な評論家は「動物的忠誠心」にされたと表現しました。

私たちの子どもや孫が、再び「動物的忠誠心」に染められるのか。今私たちが、この危険な動きを認識して、しっかりと食い止めることができるのかにかかっているのです。

セルフ・スターティング

長谷川り多子

2008年の東京YWC A講座「たゆたえども沈まず」で、川村孝則さんから「セルフ・スターティング、自分から出発しなければ何も始まらない」ということを教えられた。

昨年末に沖縄に行き、東村高江の座り込みテントを訪れた。テントのお茶会で、月曜当番の大宜味九条の会の女性たちははじめ、多くの魅力ある人たちに出会った。読谷村で開かれた野外フェス残波JAMで、ミュージシャンの三宅洋平さんに「沖縄に来たら高江に行こう」と言われ、やってきた青年。米国での「ワシントン平和行進」参加を前に、毎日カレライスを作りテントに運んでくる日本山妙法寺の若者。高江の「カフェ山壘」に惹かれて若い女性も何人も来ている。『新月新聞』や、その他の個人通信を発行している女性たちもいた。

国は2006年末、78平方キロメートルの米軍北部訓練場に隣接する高江を囲むように、6か所のヘリパッド建設を発表。オスブレイ配備など機能強化が進められ、その事実が隠され続けた。翌年、高江区の反対決議を無視した一方的な工事通告がなされ、住民による座り込みが始まった。この非暴力の抵抗を国は「通行妨害」として住民を訴え、今も裁判が続く。

今も沖縄に負わされている諸問題について、また沖縄そのものを知ってもらおうと、沖縄キリスト教学院大学学生の知念優幸さんが日本全国への旅に出発した。ぜひ各地で迎えて会を持ってほしい。

セルフ・スターティングしても思うように進まず、途切れることもある。「何度でもまた始めればいい。それがセルフ・スターティングだ」と川村さんは言われた。

（東京YWC A会員）

誰でも気軽に情報を収集し、発信することが
できる時代になり、かなりの時が経ちまし
た。世代間の差異はあるものの、それぞれが誤
行錯誤をしたり、授業や教室で教わったりして、
情報を検索する方法を身に付けてきました。し
かし、情報を読み解く力や、判断し取捨選択す
る力、活用していく力などを身に付ける機会はと
うと、極めて少なかったように感じます。情報
はあくまでも材料でありツールで、重要なことは、
その情報を用いて何をしたいかということです。
そのために流される情報をうのみにせず、事実と
発信者の意図を見極めていきたいと思っています。

情報に触れるとき、私が注意している言葉が3
つあります。1)感情的な言葉 2)人を煽るような
言葉 3)親しみがあり受け入れやすい言葉です。
もちろん、これらが良い作用をもたらす場合もあ
ります。感情的な言葉や人を煽るような言葉は、
事実の本質を揺るがすものだと思います。Twitter
(ツイッター)でそれらの言葉を含む情
報を読んだ人の反応を見ていると、感情に流さ
れたり怯えたりしています。事実を冷静に読み
解くことが難しくなってしまうようです。私もそ
れらに踊らされて、先入観で人や物事を見てし
まわないように気をつけています。反対に、受け
入れやすい言葉にも注意が必要です。耳あたりの
よい言葉は妙に安心して、思考停止を促す可
能性があります。

また、同じテーマについて複数の発信者から

隠される情報・溢れる情報 情報を読む感性を磨く

の情報を比較・分析することも面白い作業です。
4月上旬、武器輸出三原則を改めた新原則が閣議
決定されました。使われる言葉に注目して、新
聞社の社説の見出しをいくつか見てみます。

朝日新聞：武器輸出緩和

平和主義が崩れていく (4/3)

日経新聞：平和理念を傷つけぬ

武器輸出の運用を (4/3)

読売新聞：防衛装備3原則

移転の透明性確保が重要だ (4/2)

東京新聞：武器輸出新原則

厳格な歯止めが必要だ (4/2)

同じ出来事であっても、それぞれの立場や環
境によってさまざまな発信がありますね。マスメ
ディアの主張は、スポンサーや政府との関係性
に縛られて、市民との距離を感じることも少なく
ありません。ご参考までに、市民が情報を発信
する『8bitnews』<http://8bitnews.org/>とソーシ
ヤルビジネスマガジンの『オルタナ』<http://www.alterna.co.jp/>というウェブサイトを紹介し
ます。

これからもさまざまな情報に出会い、自分にと
って有益な情報か、活用できる情報かを判断す
る練習を積み重ねていくことで、見解や思考を
鍛えていきたいと思っています。

名古屋YWCA会員 坂本 渚

種

人よ、何が善であり

主が何を前前に求めておられるかは

お前に告げられている。

正義を行い、慈しみを愛し

へりくだって神と共に歩むこと、これである

(ミカ書 6章8節)

25年前、まだ長女がよちよち歩きだった頃、私たち
一家は夫の仕事のため、北イングランドに移り生活を
始めました。しかしそれは、昭和天皇崩御という時で
あり、イギリスでは、太平洋戦争での元日本軍英国人
捕虜たちの日本に対する激しい怒りと憎悪が、連日報
じられていました。東南アジアで彼らの受けた残虐行
為は聞くに堪え難く、また、この歴史事実を知らなかつ
たことが何より恥ずかしく思われました。

それから10年して、やっとロンドンでの英国人元捕
虜と日本人の和解礼拝に出席することができました。
主イエスによる罪の赦しは、加害者である私たちにも
与えられることを信じ、神と元捕虜の方々の前で懺悔
の祈りを捧げ、日本の国によって傷ついた彼らのため
に癒しを祈りました。するとその直後、元捕虜の人た
ちから握手を求められたのです。まさに、「正義」を
行えなかった時、神のみ前で悔いること、心して隣人
の痛みに耳を傾けること、そして神の前でも隣人の前
でもへりくだって歩むことの重要性を教えられた瞬間
でした。

半田ウィリアムズ郁子

日本基督教団武蔵野教会協力牧師

たくさんの一つひとつの小さな声がつながり、「戦争しない」憲法9条を保持する日本国民が、2014年4月、正式にノーベル平和賞候補になりました。2014年の受賞者発表は10月10日。受賞の実現に向けて、より多くの賛同者の署名がますます重要です。

発案と運動の原動力

まがりなりにも母になり、子どもたちの可愛らしさ愛おしさは、国を超え、人種を超え、時代を超え、いつでもどこでも世界共通のものだと私は実感しています。大人が戦争すると、必ず世界のどこかで子どもたちが恐怖と苦しみに突き落とされます。自分の子どもだけでなく、世界中の子どもたちを守りたい。

戦争の絶えない世界で、「戦争しない」憲法も、その憲法を70年近く保持しているのも素晴らしいことです。憲法9条の理念は、世界中の人たちの理想であり、願いだと思っています。

ここから少しでも、理想の実現に向けて進むことが大切だと思ひ、この素晴らしい憲法の価値を世界で共有するためにノーベル平和賞はとて良いきっかけになると考えました。

ノーベル平和賞受賞に向けて

ノーベル平和賞は、個人または団体に

憲法9条に ノーベル平和賞を

世界中の子どもたちを守るために
「戦争しない」憲法9条を世界へ

鷹巣直美

「憲法9条にノーベル平和賞を」発起人・実行委員
日本バプテスト教会連合大野キリスト教会 教会員



受賞に向けて賛同の声を

署名はこちら▶<http://chn.ge/1bNX7Hb>

贈られるもので、憲法そのものは対象にはなりません。そこで、「戦争しない憲法9条を保持している日本国民」として、推薦に向けて取り組んできました。ノーベル平和賞候補になるには、国会議員や特定分野の大学教授、ノーベル平和賞受賞者などの推薦資格者から、毎年2月1日までにノミネート（推薦）してもらい必要があります。取り組みの結果、13個人1グループ（合計43人）の方が推薦して下さり、無事ノルウェー・ノーベル委員会に受理され、日本国民が

正式にノーベル平和賞候補になりました。推薦と賛同の広がり、受賞の後押しになることを期待し、出来るだけ多くの推薦状と賛同署名を、10月の受賞者発表までに委員会に送りたいと思っています。署名用紙は、インターネットのサイト（右下参照）からダウンロードできます。どうか一緒に賛同の輪を広げてください。

価値観の共有

受賞に向けた過程での「世界の平和

を願ひ、戦争をしないことは善いことであり、これを守り広めていこう」という価値観の共有自体にも意味があると考えます。一人ひとりの行動は微力でも、それぞれが置かれた場所で「戦争しない」憲法9条を守り、世界に広めていくことは、世界中の人たちを守ることにあります。一人ひとりの小さな声をつないで、世界の平和を祈り、実現していきましょう！

44年ぶりの復活 中高YWCA全国カンファレンスに向けて

『日本YWCA100年史』の中に、こうあります。「河井道子とキャロライン・マクドナルドは、1902年の米国YWCAシルバールーペイでの修養会参加という経験を共有していた。学生たちが大自然の中で共に遊び、祈り、信仰や国際問題について心を開いて語り合ったことは、河井に強い印象を残していた。河井はこうした修養会を日本の学生にも体験させたいと願った」。

その願いから、日本YWCA成立の翌年、1906年に青山女学院において、28校165名参加の第1回夏期修養会が開催され、カンファレンスの歴史が始まりました。

全国カンファレンスは1970年を最後に、地区カンファレンスへと変わっていきました。その全国カンファレンスが今年の夏、

44年ぶりに復活します。「世界につながるいのちのチカラ」をテーマに、金香百合さん（ホリスティック教育実践研究所所長）の主題講演、9つの分科会では東京大空襲の足跡から平和のこと、核のこと、憲法9条のことなど、日本YWCAが今まで大切にしてきたことから学び、考えていきます。

教育の右傾化が懸念され、教育基本法が改正されてから10年以上が経ちました。現在も道德の教科化の問題など、キリスト教学校は多くの課題を背負っています。中高YWCAに加盟している学校の中にも、建学の精神と公が求めてくるもの（君が代、日の丸など）の狭間で苦しんでいる学校があります。YWCAに連なる学校が一堂に集まる機会に、生徒も顧問も多くの出会い



を通してエンパワーされ、さらに自らの課題を掘り下げて考えるきっかけになることを、また、100年以上続いているカンファレンスの意義を改めて感じられる時を過ごしたいと思います。

中高YWCA委員会委員長
ブール学院中高YWCA部顧問
松原恵美子

いつやるの? 今でしょ 京都YWCAユース交流会を終えて

YWCAに連なるユースたちは元気です。北は横浜、南は沖縄から計12名のユースが京都YWCAに集いました。年齢は13歳から27歳まで、YWCA初心者から日本YWCAの運営委員まで、多様な顔ぶれとなりました。

「それぞれの場で活動しているユースが互いの活動内容を知り、YWCAを知り、今後有機的なつながりをもって、活動を広げていく」ことを目標としました。経験値はさまざまな参加者たちでしたが、交流会は、みんなで創る時間となりました。

アイスブレイキングから始まり、丁寧



な自己紹介・活動紹介を経た頃には、参加者はすっかり打ち解けていました。京都YWCA会員手作りのトマト鍋や関西風お好み焼きを食べた後は、YWCAオリエンテーション。そして、YWCAの「仲間を増やすためには」というタイトルで、意見交換を行いました。参加費の配慮、友だちの誘い方、ミッションの伝え方、チラシの書き方など、実践に基づいた具体的なアイデアがたくさん出ました。

翌朝は、「キリスト教基盤とYWCAの活動」というタイトルで、京都YWCA会員のマーサ・メンセンディークさんと共に、「YWCAの“C”（キリスト教基盤）について」参加者一人ひとりの想いを共有できた、豊かな時間となりました。

YWCAへの参加動機には、活動内容に興味があったことに加えて、人とのつながりが挙がりました。普段は「活動」が前面にありますが、そこで協働する、世代を超えた多様な仲間と出会い、対話していく、「つながり」の時間と場が大



切であることを再確認しました。

京都YWCAでは、「次世代プログラム委員会」を設置して、YWCAで活動するユースを対象に、継続した「出会いと学びの場」を設定していこうと考えています。活動の場であると同時に人が育つ場でもあるYWCAが、ユースにとってかけがえのない「場」となれば幸いです。

京都YWCA「次世代プログラム委員会」

プログラム

ぜひ
ご参加
ください

【問合せ・申込み】 公益財団法人日本YWCA

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室

Email: office-japan@ywca.or.jp

Tel: 03-3292-6121 Fax: 03-3292-6122

各プログラムの詳細は www.ywca.or.jp に随時掲載

ひろしまを 考える旅2014

参加者募集中

平和な未来を創るために
今、伝えたい想いがあります
～大切な命を守るために～



今、世の中は、私たち自身がきちんと物事を見据えて考えて行動に移さなければ、命が危くなるような動きがたくさんあります。この旅に参加して、一人ひとりの大切な命を守ることに一緒に考えてみませんか。

今年44年目のこの旅は、その時々を担当委員や学生リーダーなどが力を合わせてつくり上げています。同時に、参加者も旅を共に実施する大切な存在です。お話を聞いたり、現場を見学するだけではなく、時と場所・空間を共有して何ができるかを一緒に考える。「ひろしまを考える旅」は、そんな、みんなで作る旅です。

日程

2014年8月7日(木)～9日(土)
オプション参加の場合10日(日)まで

会場

広島市文化交流会館
〒730-0812
広島市中区加古町3-3

基調講演

「核兵器・原発・戦争責任
～沼田鈴子さんの目で見える放射能被害と戦争の非人道性～」
講師：田中利幸さん（広島市立大学広島平和研究所教授）

被爆証言

坪井直さん
（日本原水爆被害者団体協議会代表委員／元教師）（予定）

内容

広島市平和記念資料館見学、碑めぐり、フィールドワーク、ワークショップ、他

対象/定員

中学生以上、このプログラムに関心のある方どなたでも。
80名

参加費

中学・高校生	2泊3日 22,000円	オプション参加	3泊4日 30,000円
大学生・大学院生	2泊3日 23,500円	オプション参加	3泊4日 33,500円
一般	2泊3日 26,500円	オプション参加	3泊4日 37,000円

注1) 費用には、プログラム費・宿泊費・食費・フィールドワーク交通費・保険料が含まれます。

注2) 留学生参加費補助制度があります。



日韓ユース・ カンファレンス 2014 参加者募集中

日韓ユース・カンファレンスは、日本と韓国のユース（青年）が寝食を共にしながら、日韓で共通するさまざまな課題を一緒に考え、解決に向けて取り組むプログラムです。今年のプログラムは広島で、原子力発電を推進することの矛盾をテーマに開催します。

日程

2014年8月15日(金)～18日(月) 3泊4日予定

会場

広島市文化交流会館
〒730-0812 広島市中区加古町3-3

テーマ

「まだ原発やってるの?～原発が抱える矛盾」

事前学習会

2014年7月12日(土)～13日(日) 於：東京

参加対象

18～30歳のユース

定員

17名

共催

日本YWCA・韓国YWCA

参加費

3万円

（東京での事前学習会宿泊費、プログラム中の宿泊費・食費などを含む）詳細はウェブサイトに随時掲載。



出会いと
発見を
提供する

日本YWCA 2014年度

人材養成部会Presents

女性のための エンパワメント 講座



女性がより積極的に自分らしく生きるために必要な、課題解決力やコミュニケーション力を高めることを目的に企画しました。詳細はウェブサイト随時掲載。



連続講座

1. 「女性のためのエンパワメント講座@カーロふくしま」 於：福島
■5月31日(土) & 6月28日(土)

「女性のためのハッピーコミュニケーション講座」 講師：増井さとみ

■6月7日(土)

「震災から3年後を生きる おかあさんのためのハッピースタディーズ～母と子が幸せに、元気に生きる方法～」 講師：金 香百合

2. 「女性たちのストーリー～私がこの活動に^{おかげ}取り組む理由～」 於：東京
さまざまな現場で活躍されている女性を毎回お迎えし、ライフストーリーを伺います。

■日程 ①6月5日(木) ②7月3日(木)

③11月6日(木) ④12月4日(木) の夜(全4回)

3. 「国際NGOはじめの一歩講座」 於：東京

NGOに関心を持つ方々を対象として、知識とスキル、そして自由な発想とチャレンジ精神を伝え、参加者がNGOで活躍することを応援する講座です。

■日程 ①9月27日(土) ②10月25日(土)

③11月29日(土) ④12月13日(土) の午後(全4回)

講演会

「一人ひとりが大切にされてこそ経済～さらば、アベノミクス」

■日時 2014年10月4日(土) 13:30～14:45 於：東京

■講師 浜 矩子(エコノミスト/同志社大学大学院教授)

全国会員集会

YWCAフェスタ in 沖縄



全国のYWCA会員はもちろん、会員ではない人も、ユースからシニアまで、沖縄の皆さんと一緒に、今日の政治や基地を取りまく状況について考え、沖縄の芸能文化を楽しみ、みんなでYWCAにつながって明日の平和をつくりませんか!?



日程

2015年2月14日(土)～16日(月)

会場

沖縄県青年会館

(那覇市久米2-15-23 那覇空港からモノレールで約15分)

プログラム

基調講演・ワークショップ・フィールドワーク・交流会、他

基調講演は、憲法と女性の人権をテーマに、沖縄の講師による講演を予定。

フィールドワークは那覇市をベースにして、3つのコースを予定。

①まるごと沖縄：歴史、文化、芸能

②米軍基地：高江、辺野古、普天間

③日本を視る：自衛隊、竹富町・八重山地区教科書採択問題

参加費

15,000円を予定(食事、保険料含)

会場集合解散です。会場までの交通費、プログラム中の宿泊費は参加費に含まれません。宿泊バック等利用され、参加者各自でご手配ください。

エンパワーするNGO

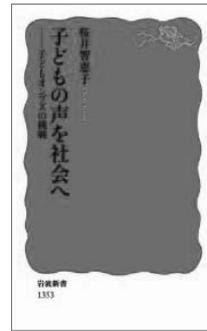


YWCAの本棚



『子どもの声を社会へ—子どもオンブズの挑戦』

桜井智恵子／著
岩波新書
720円＋税



子どもや親、先生をとりまく状況がゆとりをなくす中、時に言葉にならない思いを抱きながら子育てしている身にとって、本書には共感する記述が多い。

著者が関わる兵庫県川西市の「子ども人権オンブズパーソン」は、子ども・親・教職員等からの相談を受けて問題解決をはかる、公的な制度だ。さまざま相談があるが、特徴的なのは、オンブズチームが、当の子どもの声によく耳を傾け、課題を整理し協議したうえで、子どもの意思を尊重しながら周囲の人間関係に働きかける点だ。一方的に問題を解決しようとしたり、個人に問題を帰したりせず、相互理解を丁寧に仲立ちしながら、解決を支援する行政機関等に働きかけて、制度改善につながることもある。「子どもを中心に」関係を調整する方法が有効なのは、問題を抱えていた人

2013年度 寄付報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

活動へのご賛同、ありがとうございます。

- ピースメーカーズ募金 (平和を創り出す女性のリーダーシップ養成) 1,386,421円
災害時支援募金 (国内外の災害被災者支援、フィリピン、パレスチナ支援含む) 2,258,018円
東日本大震災被災者支援募金 13,667,414円
オリーブの木キャンペーン募金 691,061円
賛助費 1,763,000円



フィリピンYWCAによる 救援物資準備



救援物資を待つフィリピンの被災者

2014年もよろしくお願いたします

郵便振替 00170-7-23723 公益財団法人日本YWCA

通信欄にご希望の寄付項目を明記ください。年間3,000円以上のご寄付で、機関紙「YWCA」(年6回)、日本YWCA活動報告をお届けします。お名前・ご住所の記載をお忘れなく。※当法人へのご寄付は税額控除の対象になります。

が再び元気になり、力を発揮しだすことから明らかだ。だが著者は、厳しい労働環境や競争の中で緊張状態にある大人が子どもをますます追いつめている現在の社会構造にも言及し、「子どもオンブズ」に寄せられる「声」は「この余裕のなさをなんとかしてほしい」という子どもからの訴えでもあると指摘している。私たちが今必要としているのは、人々が関係に支えられながら多様な力を発揮し合い、つながり合える社会のデザインではないだろうか。本書を多くの方にすすめてほしい。

編集部 (A・N)

- ご協力ありがとうございました
賛助費
岩田明美 皆川悦子
岩田陽子 武内富貴代
ピースメーカーズ募金
(平和を創り出す女性のリーダーシップ養成)
加藤 徹 宮崎幹子 盛野ユリヤ
山下祐子 十時三三 山中はるみ
小川清恵 菅野智子 伯田田鶴子
多田安治 宮崎 功 川浪希比子
有木昭久 有木信子 浅井めぐみ
鈴木雅代 林 昭子 内ヶ崎昌子
清水嶋孝 西 文子 谷口ユカリ
肥田より子 富田なおみ 村松さなへ
日本バプテスト同盟東京第 教会
日本聖公会東京諸聖徒教会
日本キリスト教団聖ケ丘教会
災害時支援募金
(国内外の災害被災者支援)
横浜英和学院 松山YWCA
(オリーブの木キャンペーン募金)
皆川悦子 岩田陽子

- 沖繩YWCA 熊本YWCA
弘前YWCA
日本キリスト教団白鷺教会
(パレスチナの女性と子ども支援)
弘前YWCA
(フィリピン台風被害緊急支援)
池上信子 神岡茂子 神門佐千子
小室京子 鍛冶富美子
日本基督教団御幸町教会
日本基督教団京都上賀茂教会
熊本YWCA 福岡YWCA
京都YWCA
東日本大震災被災者支援募金
臼田治子 杉山知子 西 文子
熊本YWCA
大阪女学院中学・高等学校東日本大震災被災者支援の会
東洋英和女学院中高部宗教委員会
日本聖公会留萌キリスト教会婦人会
(2014年2月21日～4月15日現在 敬称略)

発行所 公益財団法人日本YWCA 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室
Tel. 03・3292・6121 Fax. 03・3292・6122 office-japan@ywca.or.jp www.ywca.or.jp

編集発行人 石井摩耶子
偶数月1日発行
定価1部 50円
年間購読料 660円(送料込)
振替 00170-7-23723

句な情報 フェイスブック y-net@ywca.or.jp にお名前を送ってください
www.facebook.com/YWCAJapan